

第142回応用化学セミナー

1st Japan–Taiwan Symposium on Circularly Polarized Photonics in Osaka
(Osaka Metropolitan University)

共催：大阪公立大学競争研究センター 機能性有機材料開発研究センター

2026年7月9日(木) 13:30–15:00 B5棟1B-39号室

演題：Regulation of Chirality and Chiral Memory at Microphase-Separated Interfaces of Self-Assembled Chiral Homopolymers and Block Copolymers for Circularly Polarized Luminescence-Active Materials

講師：Prof. Ming-Chia Li (National Yang Ming Chiao Tung Univ.)



国立台湾陽明交通大学・Ming-Chia Li(李明家)教授は、高分子の自己組織化を利用したキラル機能材料の創製を研究されている科学者です。特に、アキラルな発色団がポリラクチドを含むブロック共重合体中で自己組織化し、マイクロ相分離界面においてらせん状に配列することでキラリティーが誘起される現象を明らかにしてきました。また、円二色性(CD)や円偏光発光(CPL)などの分光学的手法を駆使し、こうした階層的キラリティーの発現機構やホモキラル進化の解明に取り組まれています。

本講演では、ブロック共重合体の自己組織化に基づくキラルナノ構造の形成機構と、それに由来する光学機能の発現、さらにはCPL活性材料への応用可能性についてご紹介いただきます。

多数の学生、教員の方々のご来聴を歓迎いたしますので、是非ともご参加下さい。

世話人：応用化学分野 八木繁幸 yagi@omu.ac.jp 内線5798